

イラン北西部地震被害に対するテヘラン日本人会からの義捐金

平成 24 年 9 月 27 日、在イラン日本国大使館にて、駒野大使立会の下、テヘラン日本人会からの義捐金（4,500 万リアル（約 30 万円））を官野テヘラン日本人会会長は日本の特定非営利活動法人である SNS 国際防災支援センター大久保代表に渡した。

被災地では 10 月の平均気温が 8 程度となるため、SNS 国際防災支援センターは日本政府の資金（供与限度額約 1 千万円）によりイラン北西部地震被災者支援（越冬対策のための防寒着配布事業）を実施しており、今回の義捐金はこの事業の一部として使われる予定である。

なお、同センターは 9 月 23 日から被災地で防寒着の直接配布を始めており、今後約 3300 着配布する予定である。



義捐金とステッカーの受け渡し

右：官野テヘラン日本人会会長
中央：大久保代表
左：駒野大使



防寒着配布の様子

左：大久保代表